



平成21年7月30日

各位

上場会社名 昭和電工株式会社
 コード番号 4004 東証第1部
 代表者 取締役社長 高橋恭平
 問合せ先 執行役員 IR・広報室長
 佐藤勝信
 TEL (03) 5470 - 3235

特別損失等の計上、第2四半期累計期間業績予想との差異、
 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり第2四半期において特別損失等の計上について決定しましたのでお知らせいたします。また、平成21年4月30日に公表しました平成21年12月期第2四半期累計期間の業績予想との差異は下記となります。

併せて、最近の業績動向を踏まえ平成21年12月期通期業績予想を修正いたします。

記

1. 特別損失の計上

熱交換器事業およびセラミックス事業において、生産設備等の減損を行い、固定資産にかかわる減損損失8,183百万円を当第2四半期会計期間に計上いたします。

(減損損失の内訳)

(1) 熱交換器事業の減損損失 4,766百万円

現在、栃木県小山市において熱交換器の製造を行っておりますが、最近の事業環境をもとに将来のキャッシュフローを見積もり、固定資産の減損を行うものです。

(2) セラミックス事業の減損損失 3,417百万円

現在、横浜市においてアルミナの製造を行っておりますが、最近の事業環境をもとに将来のキャッシュフローを見積もり、固定資産の減損を行うものです。なお、当社はインドネシアにおいて現地企業等と共同でアルミナの現地生産事業化調査を進めております。

2. 繰延税金資産の取崩し

当第2四半期累計期間の業績および今後の経営環境を考慮し、当第2四半期末において繰延税金資産の一部を取り崩すものです。これにより、四半期純損失は5,243百万円増加いたします。

3. 平成21年12月期第2四半期累計期間業績予想との差異

(1) 連結業績予想との差異

(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成21年4月30日発表)	280,000	△27,500	△39,500	△38,000
第2四半期累計期間実績 (B)	286,683	△22,861	△34,334	△46,531
増減額(B)－(A)	6,683	4,639	5,166	△8,531
増減率	2.4%	16.9%	13.1%	△22.5%
ご参考 前中間期実績 (平成20年12月期第2四半期)	510,788	24,626	18,047	11,730

(2) 個別業績予想との差異

(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 4 月 30 日発表)	175,000	△24,000	△24,000	△22,000
第 2 四半期累計期間実績 (B)	184,996	△19,147	△17,454	△27,405
増減額(B)－(A)	9,996	4,853	6,546	△5,405
増減率	5.7%	20.2%	27.3%	△24.6%
ご参考 前中間期実績 (平成 20 年 12 月期第 2 四半期)	360,243	17,101	15,262	10,129

(3) 第 2 四半期累計期間業績予想との差異の理由 (連結、個別)

営業利益、経常利益につきましては、主に石油化学の需要が4月時点の想定より改善し出荷数量が増加したため、前回予想を上回りました。当期純利益につきましては、前述のとおり減損損失の計上等を行ったため、前回予想を下回りました。

4. 平成 21 年 12 月期通期業績予想の修正

(1) 連結通期業績予想の修正

(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 4 月 30 日発表)	710,000	△6,500	△23,500	△30,000
今回修正予想(B)	670,000	△17,000	△34,500	△46,500
増減額(B)－(A)	△40,000	△10,500	△11,000	△16,500
増減率	△5.6%	△161.5%	△46.8%	△55.0%
ご参考 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	1,003,876	26,792	9,793	2,451

(2) 個別通期業績予想の修正

(平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21 年 4 月 30 日発表)	455,000	△16,000	△19,500	△20,000
今回修正予想(B)	430,000	△20,500	△17,000	△24,000
増減額(B)－(A)	△25,000	△4,500	2,500	△4,000
増減率	△5.5%	△28.1%	12.8%	△20.0%
ご参考 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	705,219	13,549	4,338	3,395

(3) 連結通期業績予想修正の理由

通期の業績予想について、前回予想発表時には下期につきましては新たな算出を行っておりませんでした。が、足元の景況感を踏まえ新たに下期予想の算出を行い、予想を修正いたします。

営業利益、経常利益については、石油化学セグメントにおいては堅調な需要の回復を背景に増益を見込みますが、無機セグメントは、電炉鋼業界の生産調整が長引いており、電極の出荷数量が前回予想比未達となる見込みです。また、電子・情報セグメントは、HD は上期と比べ出荷数量は増加傾向にありますが採算性の回復が年初想定比やや遅れ、レアアース事業は在庫調整が長引く見込みです。

当期純利益については、第2四半期累計期間実績の前回予想との差異に加え、下期の経常利益の減額により前回予想を下回る見込みです。

(ご参考)平成 21 年 12 月期通期業績予想 セグメント別売上高、営業利益(連結)

(単位:億円)

		通期業績予想(連結)			前年実績 (H20.1~H20.12)
		前回予想 (H21.1~H21.12) H21.4.30 発表	今回予想 (H21.1~H21.12) H21.7.30 発表	増 減	
石油化学	売上高	2,280	2,350	70	4,002
	営業利益	55	65	10	△13
化学品	売上高	970	960	△10	933
	営業利益	0	△5	△5	53
電子・情報	売上高	1,280	1,220	△60	1,888
	営業利益	△115	△150	△35	93
無機	売上高	730	470	△260	888
	営業利益	110	20	△90	192
アルミニウム 他	売上高	1,840	1,700	△140	2,328
	営業利益	△60	△65	△5	△2
共通・本部	売上高	0	0	0	0
	営業利益	△55	△35	20	△55
計	売上高	7,100	6,700	△400	10,039
	営業利益	△65	△170	△105	268

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上